2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	基本技術IV(ヘルスアセスメント:消化器系)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	6 (1) 時間(単位)
対象学年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2階3階実習室
担当教員	寺崎 経子 竹田 知美 川原 秀明 中辻 友華	実務経験と その関連資格	総合病院で臨床経験15年(主に小児病棟勤務)地域の学校看護師などの経験。教育機関で勤務 看護師 看護師 看護師			
《科目目標》 ① 各臓器についてのフィジカルアセスメントの方法を知り、実践できる ② 事例を通してフィジカルアセスメントが実践できる						
《成績評価の方法と基準》 【評価方法】 課題15%、授業態度10%、計画立案5%、ロールプレイ発表5%、理解度テスト20%、終講試験45%の総合評価とする。 【評価基準】 優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術 I メディカ出版 1巻 解剖生理 8巻 栄養代謝機能障害 EX3巻 消化器						
《授業外における学習方法》 ①事前・事後学習を行い授業に出席する。事前課題は必須。 ②指示している動画を視聴して出席する ③バイタルサイン測定、フィジカルアセスメントの基本技術を習得するよう練習する。						
《履修に当たっての留意点》 ①提出物は、クラス単位で回収し指定された時間を守り提出する ②グループワークや意見交換は時間を有効に積極的に行う ③ロールプレイ発表は、全員で役割を担い発表する ④言える、書ける、行動できるよう主体的学習姿勢で臨む						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書	呼吸器系の解剖整理を予習しておく。課題	
	各コマにおける授業予定	呼吸器系の構造と機能がわかる。呼吸器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点がわかる				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書	課題:8:45分までに提出する。課題 GW	
	各コマにおける授業予定	事例の場面から、必要な情報を考える。報からアセスメントでき、対象の状態を判断する。断した内容から、看護援助を考える。	情判			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系のフィジカルアセスメントの視点を考え実施できる	教科書 小テスト	聴診器 ワークシート授業終了後提出する。課題	
	各コマにおける授業予定	事例の場面から、必要な情報を考える。報からアセスメントでき、対象の状態を判断する。断した内容から、看護援助を考える。た結果をアセスメントできる。	情判断 観察し			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際	教科書	解剖を予習	
	各コマにおける授業予定	鎖骨・肋骨・脊柱の解剖を理解する。				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経、骨・筋系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書	解剖を予習	
	各コマにおける授業予定	中枢神経、骨・筋系の構造と機能が説明できる				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 中枢神経、骨・筋系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書	解剖を予習 課題
		各コマにおける授業予定 中枢神経、骨・筋系の構造と機能が説明できる		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ	教科書	課題提出
		各コマにおける授業予定 事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考える。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 中枢神経、骨・筋系のフィジカルアセスメントが実施できる	教科書	紺Tシャツ、ジャージ着用 ナースシューズ 課題提出
		各コマにおける授業予定 中枢神経、骨・筋系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 消化器系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書 小テスト	消化器系の解剖生理を予習 課題
		各コマにおける授業予定 消化器系の構造と機能が説明できる。 消化器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ	教科書	援助計画の立案(O-P、T-P、E-P) 各自事前にプレゼンの練習を実施
		各コマにおける授業予定 事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考える。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 事例場面から消化器系のフィジカルアセスメントが実施できる	教科書	課題 解剖Tシャツ着用 下は白衣ズボン ナースシューズ 聴診器
		各コマにおける授業予定 消化器系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 循環器系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書 小テスト	循環器系の解剖生理を予習 解剖Tシャツ着用 課題
		各コマにおける授業予定 循環器系の構造と機能が説明できる。 循環器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ	教科書	援助計画の立案(O-P、T-P、E-P)
		各コマにおける授業予定 事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考える。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 循環器系のフィジカルアセスメントが実施できる	教科書	課題 解剖Tシャツ着用 下は白衣ズボン ナースシューズ 聴診器・血圧計
		各コマにおける授業予定 循環器系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標		
		各コマにおける授業予定 まとめ・終講試験		